



学校だより

6月号

横浜市立若葉台西小学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/wakabadainishi/>

2006年5月31日発行

ホタルを放流しました

副校長 箕 宏彰

私が小学生の頃ですから、今からかなり前のことです。夏が近い蒸し暑い夜、懐中電灯を持って裏庭の崖を降りると、目の前をホタルがたくさん飛んでいました。その当時 ホタルの種類や生態などは知りませんでしたが、「こっちの水は あ～まいぞ」と歌いながら虫籠いっぱいになるまでホタルを追いかけていました。その後、ヘリコプターで農薬を散布するようになるなどの環境の悪化に伴いホタルの姿が見られなくなりました。

昨年度、区全体が大きな公園になることをイメージした「旭区グリーンロード構想」の一環として、ヘイケボタルの幼虫が西小にやってきました。旭区役所や横浜ほたるの会のご指導のもと、長い間、職員玄関近くの水槽で飼育されていましたが、5月26日に天使の湖のせせらぎに生育のよいホタルを放流しました。



今まで毎日のように水槽の水替えをしたり餌のカワニナを与えたりしてきた環境委員会（昨年度はビオトープ委員会）の子どもたちが中心となりました。

天使の湖に放流されたホタルは、上陸し土繭をつくりさなぎになります。そのため、土を固めないよう部分的ですが立ち入り禁止とします。西小に放流されたホタルが、天使の湖の周辺を飛ぶ姿が夏頃には見られるかもしれません。どうぞ、本校にお立ち寄り際には、正門近くの天使の湖にいらしてください。

ホタルの生育にとって一番大切なのは、環境の保全です。せせらぎには水道水を流しています。周囲の環境は技術員さんが中心に整備してきました。来年度に学校統合を控えている本校にとって、最大の課題は今後のことです。子どもたちが、身近な自然に目を向け、自分たちの住む若葉台の環境について考え愛着を持って欲しいという願いがあります。そのためにも地域・保護者の皆様のお力添え・ご支援をいただければと思います。どうぞ 宜しく願いいたします。